

2016年度秋季大会の報告

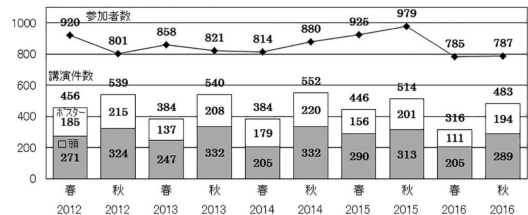
2016年度秋季大会は、名古屋大学東山キャンパス（名古屋市千種区不老町）を会場として2016年10月26日（水）～28日（金）に行われた。参加者数（前納登録者と当日受付者の合計）は787名であった（第1図）。

大会期間中は、ポスターまたは口頭発表による一般講演、並びに特定のテーマに基づいて世話人が編成する7件のスペシャル・セッションが行われた。講演件数は、一般講演381件（ポスター194件、口頭発表187件）、およびスペシャル・セッション102件、合計483件であった。

また、会期中およびその前日に、個別のテーマによる3件の研究会が開かれた。

2日目午後には、名古屋大学豊田講堂ホールにおいて大会シンポジウム「航空機が気象学にもたらす科学イノベーション」が開催され、4件の基調講演と総合討論が行われた。大会シンポジウムに引き続き、授賞式が開催され、堀内賞が米山邦夫氏とPrabir K. Patra氏に、正野賞が宮崎雄三氏と松枝未遠氏に、山本賞が齋藤泉氏と高麗正史氏に、奨励賞が鵜山義晃氏と瀧本家康氏にそれぞれ授与された。授賞式の後、堀内賞、正野賞及び山本賞の受賞記念講演が行われた。

今大会では、無料試行版という位置づけで、製本版



第1図 過去5年間の大会参加者数と講演件数（ポスター、口頭（スペシャル・セッションを含む））。

の予稿集に、電子版予稿集を収録したCDを付録しました。また、電子予稿集の本格運用へ向け、会員の皆様にはアンケート調査にご協力頂きました。誠にありがとうございました。

今大会の開催に当たり、12の企業・団体からご出展・ご協賛を頂きました。厚く御礼申し上げます。

最後に、今大会実行委員として大会準備・運営にご尽力頂いた名古屋地方気象台、名古屋大学、三重大学、信州大学、日本気象協会中部支社、日本気象予報士会東海支部をはじめとする中部支部の皆様深く感謝の意を表します。

2016年12月 講演企画委員会